様式4

令和8年10月30日

令和8年度　学校関係者評価及び改善策

（ 中間・最終 ）　　郷原中学校区　校番6　　学校名　郷原小学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標，指標の設定の適切さ	A	○明確で的確だと感じる。 ○子ども一人一人をよく見ていこう，それぞれの力を伸ばしていこう，困難でも，数値だけでなくその背景にあるものをつかんで対処しようという心意気に感心しました。
目標達成のための方策の適切さ	A	○限られた時間の中で，可能な限り，明確な指導のもと，目標達成を目指す思いが感じられる。 ●表現力の向上は，子どもが「表現したい」と思うことがあってこそ実働するのではないか。算数の授業の振り返りを書くことが目標達成の方策になるのかは疑問ですが，子ども一人一人に「できた」「わかった」といった感動がある授業を目指すプロセスであってほしい。
自己評価の結果の分析の適切さ	A	○大きな視点で，1人も漏れなく掬い上げ，皆で成長し，目標へ近づけようとされる思いが伝わり，評価できる。 ●質の高い振り返りが書けなかったこと，教師がそれを授業の評価として受け止め，授業改善を図ることが重要だと考えます。
今後の改善策（案）の適切さ	A	○職員全員参加体制の城山タイム，素晴らしい取り組みだと思います。 ○体力づくりのため，学校生活の様々な場面における活動の工夫や肯定的評価，これからが楽しみです。 ○「学び，心，体」を目標とし，それに伴わせ，子ども達の環境・心情・背景も全て鑑みた上で，教員同士のサポート等，力を合わせ，学校全体で細やかに底上げできる策に取り組まれている様子が感じられる。
その他	○目標，指標を設定し，目標達成の方策をたて，それに対しての評価・結果・分析さらに今後の改善策等，先生方の多大な御努力，御苦労があったことと思います。また，教職員の時間外勤務と仕事量のからみで大変なこととは思いますが，「郷原っ子」のために引き続きよろしくお願いします。 ○日頃より，先生方のご努力や細やかな思いに触れ，頭が下がります。限りある時間の中で，子ども達と向き合い，そして，先生方も心満たされる日々であることを願っております。	

※　評価は，A（とても適切），B（概ね適切），C（あまり適切でない），D（まったく適切でない），N（分からない）

学校関係者評価を受けての今後の改善策	・「学校評価」の目標や方策等，定期的に確認し，全教職員のベクトルの向きをそろえ，日々の教育実践を行う。 ・基礎学力の定着，表現力の向上を目指し，子ども達が「学びたい」「表現したい」といった授業を展開できるよう，子ども達の「ふりかえりの記述」を生かし，授業改善を図る。 ・日常的に児童の所作や言動を価値付けたり，郷原のよさや魅力に気付かせたりすることを継続しながら，児童主体の縦割り班活動や異学年交流をマネジメントし，豊かな心を醸成していく。 ・「健やかな体」の育成については，「学校安全計画」を確実に実施し，「自分の命は自分で守る」児童を育んだり，郷原っ子体操やサーキット運動に継続して取り組んだりすることで，体力の向上を目指す。 ・教職員のボトムアップによる業務改善の日常化を進めていく。